

ながいき農業だより

発行 長生農業事務所 茂原市茂原1102-1・長生農業改良普及事業協議会
 編集 長生農業事務所改良普及課 TEL 0475(22)1771 FAX 0475(25)2061
 URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-chousei/>

元気な長生農業人 その四十五

新規就農で、特産ブランドの

白子たまねぎ®の規模拡大を目指す！

白子町 白子潮風ファーム 代表 仲田 吉範さん

白子町の特産ブランドの白子たまねぎ®の規模拡大を目指す、白子潮風ファーム代表 仲田吉範さんを紹介します。

平成二十九年に白子町で新規就農者として農業経営を開始し、前職の経験を生かし、意欲的な取り組みで、地域に新風を吹き込んでいます。



〈就農の経緯〉

仲田さんは、船橋市の出身で大手食料品メーカーの営業職として勤務していましたが、食の根幹である農業生産に携わる仕事をした

いと考えていました。そんな中、ある方の紹介で有機農業を紹介され、会社を退職して山梨で雇用就農を四年間経験しました。

本格的に農業に携わりたい気持ちが高まる中、有機農業の限界を感じ、農業の知識を高めないと自立した就農ができないと考え、千葉県に戻り県立農業大学校で研修を受けることにしました。そのカリキュラムの中で、農家研修があり、白子町を薦められ、受け入れ農家の熱意に感銘し、白子町で就農を決意しました。

〈経営の概要〉

今年のだまねぎの栽培面積は、二・一ヘクタール（葉たまねぎ十アール、たまねぎ二ヘクタール）、労働力は、夫婦二名、パート二名、研修生一名、農福連携等となっています。

就農当初は、たまねぎと落花生を栽培していましたが、作期の関係からたまねぎのみにシフトする

ことにしました。白子のたまねぎは、ブランド力もあり販売に関しては、JAの白子町玉葱出荷組合があり、安心して栽培に取り組みることができたとのことでした。

しかし、奥さんと二人で、栽培面積一ヘクタールがギリギリの面積と感じていました。就農四年目にJAの関係者から農福連携を勧められ、導入することになりました。作業内容は、葉たまねぎの出荷調整とたまねぎの収穫ですが、仕事も丁寧で作業も予想以上に進み早めに出荷することができました。

〈今後の経営について〉

たまねぎの収穫期間の拡大や農福連携等を活用し、三ヘクタールの栽培を目指しています。今は、葉たまねぎ、たまねぎ一本で経営していますが、輪作として落花生の生産も取り入れたいと考えています。

経営開始当初は、多くの方々に世話になり、葉たまねぎ品評会で連続して賞をとれたことで周りから認められたことが大きな自信になったそうです。仲田さんが地域の中核的な担い手として活躍されることを期待しています。

(改良普及課)

水稻の収穫期の目安

水稻の収穫は適期に行いましょ。早刈りでは青未熟粒、刈り遅れでは胴割米等が発生し、品質・食味を低下させますので適期の収穫が重要です。

収穫期を判断するためには、登熟状況を十分に観察し、帯緑色歩合を確認します。ほ場の中で平均的な生育をしている十株程度から主稈と思われる茎を選び、穂を抜き取ります。不稔籾を除いた全籾数のうち、少しでも緑色部分がある籾の割合が十五％程度の時が

たまねぎのべと病対策 〜一次感染を防ぎましょう〜

ここ数年、べと病は多発傾向にあり収量品質に大きな影響を与えています。たまねぎのべと病は発生を確認してから防除を行っても十分な効果が期待できません。年内までの防除もしっかり行い一次感染を防ぎましょう。防除のポイントは次の三つです。(一)苗床の太陽熱消毒(二)育苗時の農薬散布(最低一回)(三)定植後二週間以内の農薬散布(ジャストフィットフロアブル等)となります。また、太陽熱消毒の方法は以下の通りです。

収穫適期となります。(図1参照)
なお、収穫期の目安は、出穂期(全穂数の四〇〜五〇％が出穂した日)から「ふさおとめ」で三十日前後、「ふさこがね」で三十日前後、「コシヒカリ」「粒すけ」で三十八日前後です。

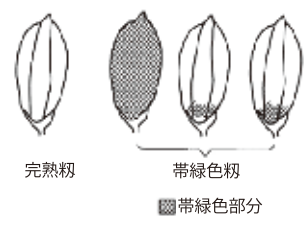


図 帯緑色籾の見分け方
少しでも緑色の部分があれば帯緑色籾として数えます。
(改良普及課)

●播種前に施肥・耕耘・畝立てを行い、水でしっかりと圃場を濡らしてから透明マルチを張ります。マルチを張ってから一ヶ月程度で太陽熱消毒が完了します。太陽熱消毒が完了したらマルチを外して水を撒き、地温が下がってから播種を行います。

ポイントとして、先に施肥・耕耘・畝立てを行うことで消毒した層と消毒できていない層を混ぜないことが大切です。また、雑草や苗立ち枯れ病等も対象としたバスアミド微粒剤による土壌消毒を併用すると更に効果は高まります。
(改良普及課)

家畜ふん堆肥を 上手に活用しましょう

最近の国際情勢や急激な円安などの影響により、化学肥料が高騰していることや、農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」で化学肥料の使用量を減らすことが推奨されていることなどから、家畜ふん堆肥の活用が注目されています。

- 家畜ふん堆肥の主な効果は以下のとおりです。
 - ① 作物に対する養分供給
 - ② 土壌化学性の改善
 - ③ 土壌物理性の改善
 - ④ 土壌生物性の改善
- また、使用する家畜ふん堆肥によつて特徴があるので、使用目的に合った家畜ふん堆肥を選びましょう。
- ① 馬ふん堆肥の特徴
分解速度がゆっくりで、土づくりに適した資材として適しています。
 - ② 牛ふん堆肥の特徴
分解速度がゆっくりで、土づくりに適した資材として適しています。
 - ③ 豚ふん堆肥
土づくりに効果と肥料効果の両方が見込まれます。リン酸成分が多めです。
 - ④ 鶏ふん堆肥の特徴

分解速度が速く、肥料効果が見込まれます。石灰とリン酸成分が多めです。
最後に家畜ふん堆肥を利用する際には以下の点に注意してください。

- ① 適正施用量を守る
過剰施肥は生育障害等の原因になります。堆肥を化学肥料の代替とする場合、目安は基肥に必要な窒素成分の約三割です。また、定期的に土壌分析を行ってください。
- ② 耕起をしっかりと行う
ほ場での堆肥の偏りを無くすためにも良く耕うんしてください。
- ③ 除草剤成分に注意
輸入飼料を給与した牛または馬の堆肥には、除草剤の成分が含まれている可能性があります。特に施設栽培やポット栽培のナス科・マメ科・キク科の作物では施用量に留意する必要があります。



家畜ふん堆肥の散布

(改良普及課)

農地耕作条件改善事業のあらまし

農地耕作条件改善事業は、農地中間管理機構による担い手への農地集積等に向けて、地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善、高収益作物への転換などをハード・ソフトの組み合わせで支援します。

事業は「①地域内農地集積型」が基本になります。整備内容は主な項目のみ記載していますが、実施内容に応じ定率と定額の助成があります。

①地域内農地集積型

(きめ細やかな 基盤整備)

【ハード：工事費1/2を補助】

- ・ 区画整理 (畦畔撤去など)
- ・ 暗渠排水 (農地の排水促進、地下水位の低下)
- ・ 土層改良 (客土や心土破碎)
- ・ 農業用排水施設 (土水路をパイプラインやU字溝に)
- ・ 農作業道整備 (アスファルトや砂利等により道路を舗装)
- 【ソフト：各種推進費を助成】
- ・ 営農条件改善の推進
- ・ 農地整備・集約の推進

また、①に加えて②～⑥のメニューを単独または同時に実施可能です。

②高収益作物転換型

【ハード：畑作化や樹園地化】

・ 畑作転換(堆肥施用、明渠排水)

【ソフト：各種推進費を助成】

- ・ 営農の条件改善推進
- ・ 新植、改植、幼木管理支援
- ・ 経営の継続・発展支援
- ・ 高収益作物の導入支援・促進
- ・ 高付加価値農業施設の設置
- ・ 機械作業体系導入の支援
- ・ 農地整備・集約の推進
- ③スマート農業導入推進型
- ・ 高精度衛星測位システム導入
- ④病虫害対策型
- ・ 病虫害の発生予防やまん延防止に向けた対策の実施
- ⑤水田貯留機能向上型
- ・ 田んぼガムの実施に必要な基盤整備を支援 (条件調査や堰板及び排水ます設置等)
- ⑥土地利用調整型
- ・ 様々な農地利用形態改変を支援

様々な農地利用形態改変を支援実施にあたっては、以下の項目を満たす必要があります。

- 農地中間管理機構と連携を行う
- 地域内農地集積促進計画を作成
- 農地耕作条件改善計画を作成
- 地区のハード事業費200万以上
- 受益者数が農業者2者以上

事業の詳細は、農業事務所、市町村の担当課にご相談ください。
(指導管理課)

ミツバチを飼う時は「飼育届」の提出をお願いします

養蜂振興法により、ミツバチを飼育する方は、毎年一月末までに、住所地の都道府県に「飼育届」を提出することが義務づけられています。

趣味で飼育している方も、届出の対象となります。

なお、一度提出した飼育届の内容を変更する場合や、年の途中で新たに飼育を開始する場合は「変更届」の提出が必要です。

様式は農業事務所窓口のほか、県のHPからも入手できます。

千葉県堆肥利用促進ネットワークを御存知ですか？

千葉県HPでは、県内で生産されている家畜ふん堆肥を検索できる「千葉県堆肥利用促進ネットワーク」を掲載しています。

地域別検索や畜種別検索ができ、肥料成分や提供価格などを調べることが出来ます。御希望の堆肥を探すときに活用してみてください。

◆利用にあたっての注意

本HPは、家畜ふん堆肥の流通促進のための情報提供の場として、堆肥購入希望の場合は、

*県HP検索はこちらから

千葉県 蜜蜂を飼育する方へ



ご不明な点は企画振興課までお問合せください。
☎(〇四七五―二二―一七五二)

直接、畜産農家にお問合せください。また、品質についても畜産農家に直接お問合せください。現物を確認してから御利用いただくことをお勧めします。

◆県HP検索はこちらから

千葉県堆肥利用促進ネットワーク



(企画振興課)



ほ場巡回の様子

長生地区にはいちご農家が十三戸ありますが、それぞれが独自に観光いちご狩りや直売を行っているため、出荷組合が無く、生産者同士の横のつながりが薄くなりがちです。そこで、九戸で学習研究組織「長生いちご研究会」（以下、研究会）を組織し、県いちご連にも加入して情報交換や交流を行っています。

近年は、コロナ禍により、研究会の活動はほぼ停止状態でしたが、昨年度から徐々に再開しました。新規就農者二名の加入をきっかけに、ほ場巡回の回数を増やし、先輩農業者から助言を行うなど、活動が活性化しています。

今後、研究会の活動を通して、栽培技術、経営の向上を目指します。

（改良普及課）

「長生いちご研究会」
「経営向上を目指して」



Facebook
アカウント



若手生産者への視察

長生ヤングパワーズクラブは長生地域の20〜40代の若手農業者で構成されたグループです。

クラブ員同士の交流や相互訪問さらには、県内の他地域の若手農業者とも交流しながら、農業技術の習得や、同世代の農業者との人脈作りを通じて、経営管理能力の向上を図っています。

主な活動は、月に1回程度の定例会、地域内外への視察研修会、BBQ等のレクリエーション活動です。また、千葉県青年農業者会議等の研究発表会において、実行委員を務めて運営に携わります。

Facebookで、情報発信も行っています。興味を持たれた方は、会員または長生農業事務所にお声掛けください。

（改良普及課）

長生ヤングパワーズクラブ
新規会員募集！

千葉県立農業大学校
令和6年度 入学生の募集

本県農業の担い手及び指導者を目指す入学生を募集します。

▶ **募集人員** 農学科80名、研究科20名(推薦入学で募集する者を含む)

▶ **試験期日** 【推薦入学】 令和5年10月19日(木)
【一般入学】
A日程 令和6年1月10日(水)
B日程 令和6年2月14日(水)

▶ **願書受付**
【推薦入学】
令和5年9月15日(金)～9月29日(金)
【一般入学】
A日程 令和5年12月4日(月)～12月15日(金)
B日程 令和6年1月22日(月)～2月1日(木)

▶ **試験実施場所**
千葉県立農業大学校 (東金市)
▶ **問合せ** 千葉県立農業大学校試験事務局

0475 (52) 5121

農業経営体育成セミナーを開講しました

6月1日に農業経営体育成セミナーの開講式を行いました。今年度は基本生8名、専門生12名、総合生5名が受講しています。基本生(1年生)は、基礎的な技術の習得と仲間づくりを目標に研修を行います。専門生(2年生)は、それらに加えて、自分の経営上の課題を見つけ、解決に導く「プロジェクト活動」に取り組みます。総合生(3年生)は、自分の経営の把握・分析を行い、将来の営農計画を作成して、修了となります。毎年セミナー生を募集していますので、受講希望の方は、改良普及課までお問合せください。

（改良普及課）



開講式参加者で記念撮影